

GT5116
2008.11.12MCbN

DCサーボモータドライバ
MS-100I取扱説明書



澤村電気工業株式会社

営業所・工場

〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町181番地

TEL 045-938-0891

FAX 045-935-7951

E-mail : eigyo@sawamura.co.jp

*** 目次 ***

・ご使用上の注意	P 3
・接続図	P 5
・負荷特性例	P 5
・トリマ調整	P 6
・スイッチ設定	P 7
・使用例	P 7
・仕様	P 1 1
・端子板	P 1 2
・オプション	P 1 2
・回路構成図	P 1 2
・寸法図	P 1 3

【ご使用上の注意】

1. 爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、湿気の多い場所、結露を生じる場所、ほこり・油煙の多い場所では使用しないでください。
2. 強い衝撃や振動の加わる場所や不安定な状態では使用しないでください。
3. 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、火気のある場所で使用しないでください。
4. 密閉した小さな箱に入れて使用すると内部の温度が上昇して使用温度範囲を超えることがあります。放熱の妨げになるような通気性の悪い環境での使用はしないでください。
5. 製品の周囲には可燃物を置かないでください。
6. 分解・改造は、行わないでください。思わぬ事故のおそれがあります。また、お客様による分解・改造は、当社の保証範囲外ですので、責任を負いかねます。
7. 万一、製品から発熱や煙、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を遮断してください。煙が消えるのを確認して、弊社またはご購入元に修理をご依頼ください。お客様ご自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
8. 製品の内部に異物（水・金属片・液体など）が入った場合や誤って落としたり、カバーなどを破損した場合は、直ちに電源を遮断してください。その後、弊社またはご購入元にご連絡ください。
9. 接続図（P 5）の通り正しく結線してください。
10. 結線は電源を切った状態で行なってください。
11. 指令電圧の配線はシールド線またはツイストペア線を使用して結線してください。タコジェネレータの配線もシールド線またはツイストペア線を使用して結線してください。シールド線のシールドは片側だけノイズ低減効果のあるグラウンドに落としてください。
12. 速度指令電圧 0 Vでの停止はモータがサーボロック状態になりません。速度指令電圧 0 Vでロックさせたい場合は、モータにタコジェネレータを付けてタコジェネフィードバック型のドライバを使用するか、モータに電磁ブレーキを付けてください。
13. インビビット入力での停止はモータフリーになります。
14. 電源電圧はDC 8～32 Vの純直流で入力してください。過電圧、低電圧、交流電圧、高リップル波形電圧では使用しないでください。
15. DC 12 V定格のモータは電源電圧DC 12 V、DC 24 V定格のモータは電源電圧DC 24 Vでご使用ください。
16. 出力端子（M+、M-）を短絡すると出力回路が故障します。故障するとヒューズが溶断したりモータが暴走するなど大変危険です。
17. モータに流れる電流が、電流制限値になるとモータは回転しなくなります。負荷が軽くなって電流値が減るとモータは回転しはじめます。ご注意ください。負荷トルクと電流値は回転速度に関係なく比例関係になります。
18. 電流制限動作中はモータに電流が流れたままになりますが、電流制限値がモータの定格電流値以下ならばモータが焼損することはありません。
19. モータの起動トルクは定格トルクの3～5倍ありますが、MS-100にてモータを起動した時は電流制限値に比例したトルクでモータの起動トルクも制限されます。この影響でモータの起動時間が遅くなります。
20. MS-100にはケースカバーと端子板カバーが付いています。
21. MS-100の出力で電磁ブレーキの作動はできません。
22. MS-100 およびモータの近くにマイコンやセンサなどの機器を設置すると、PWM周波数 20 kHzからのノイズの影響で機器が誤動作するおそれがあります。ノイズの影響を受ける時はノイズ対策をしてください。

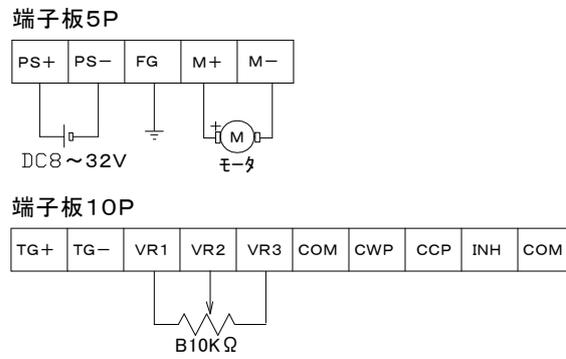
23. トリマ調整とスイッチ設定は出荷時に初期設定していますので特に設定する必要はありません。使用者による調整は本取扱説明書のトリマ調整（P 6）・スイッチ設定（P 7）を参照の上、必要な調整を行なってください。
24. 1 台のMS-100 で 2 台以上のモータを駆動することはできません。
25. DC 電源にスイッチング電源を使用した時にモータを急停止や急逆転をさせると回生電圧の影響で、スイッチング電源に内蔵した過電圧保護回路が動作することがあります。過電圧保護回路は自動復帰でないため、AC 電源側を数分待ってから再投入する必要があります。
26. スwitchング電源の過電圧保護回路が働くのを防止するために、当社ではスイッチング電源の保護電圧を変更しています。変更後のスイッチング電源の型番は次の通りです。

P L D 24 S Z S	定格 60 W 迄のモータに適合
P L E 24 H S Z S	定格 120 W 迄のモータに適合

以上のスイッチング電源はイータ電機製です。
 部品変更はイータ電機の許可を得て当社にて変更しています。
 ※ 詳細は弊社営業までお問い合わせください。

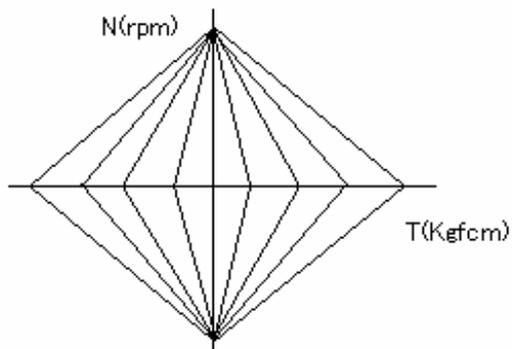
27. スwitchング電源の容量はモータ容量の 2 倍以上の物を選定してください。
28. 回生電圧が大きい場合は部品変更をしたスイッチング電源でも過電圧保護が働くことがあります。この場合はオプションの回生電力吸収回路「SRC-□□□」を併用してください。詳細は「SRC-C 3 5 取扱説明書」をご覧ください。
29. 保証期間は発送日より 1 年間になります。

・ 接続図



*これは可変抵抗器を使用した基本接続図です。その他の接続方法は使用例で説明します。

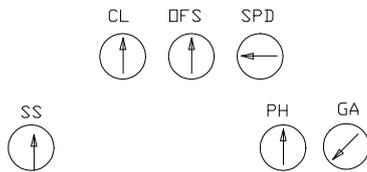
・ 負荷特性例



*トルク制御ではトルク指令電圧に対し起動トルクが変化しますが、負荷トルクが0の時はトルク指令電圧に関係なくモータは最高回転数で回ります。

・トリマ調整

出荷時調整位置



RV1 : SPD 「スピード調整トリマ」

MS-100IではSPDトリマは無効になります。

RV2 : GA 「ゲイン調整トリマ」

速度アンプのゲインは左一杯で1倍に設定します。

SW1-4 : ONでゲイン調整トリマが有効になります。

SW1-4 : OFFではゲイン調整トリマは無効になります。

RV3 : OFS 「オフセット調整トリマ」

オフセット (ゼロ) 調整トリマ

指令電圧0Vの時にモータが停止するように調整します。

ゲインが低い時はオフセットが大きくなるので、停止位置はトリマ中央より左側になります。

RV4 : PH 「位相補償トリマ」

MS-100IではPHトリマは無効になります。

RV5 : CL 「電流制限トリマ」

出力電流を制限 (定電流) してモータ及びFETの温度上昇を抑制します。

左一杯では定格電流の2%、右一杯では定格電流の150%になります。

CLトリマを動かしますとオフセットが若干ズレますのでOFSトリマを再調整してください。

RV6 : SS 「ソフトスタートトリマ」

モータを急激に加速させたくない時に設定しますが、トルク制御ではあまり使用しません。

SW1-3をONした時に有効になります。

加速時間は0~5secに設定できます。

注意！ 上記のトリマ以外は、調整しないで下さい。

・スイッチ設定

SW1 : DIP 6 P

SW1-1 : TFS

OFF (トルク制御)

SW1-2 : CFS

OFF

SW1-3 : SSS

ON (ソフトスタート) / OFF (ノーマルスタート)

SW1-4 : VLG

ON (速度アンプ Low ゲイン)

SW1-5 : PHP

OFF

SW1-6 : ILG

OFF (電流アンプ High ゲイン)

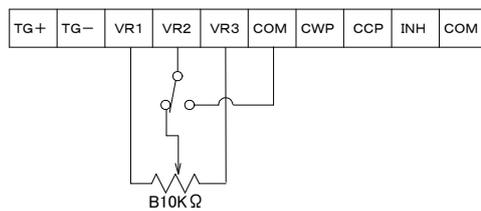
*一覧表

	TFS	CFS	SSS	VLG	PHP	ILG
SW1	-1	-2	-3	-4	-5	-6
タコジェネFB	ON	OFF		OFF		ON
電圧制御	OFF	ON		ON		ON
トルク制御	OFF	OFF		ON		OFF

・使用例

1、START/STOP (指令信号 その1)

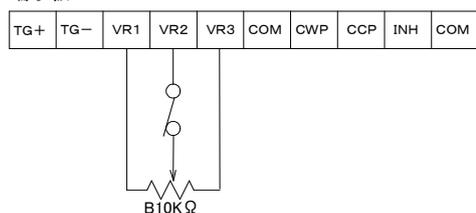
端子板10P



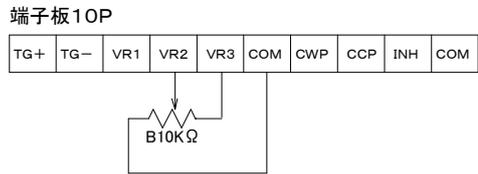
* STOP時のモータはサーボロック状態になりません。

2、START/STOP (指令信号 その2)

端子板10P

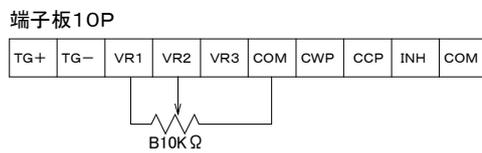


3、正転運転



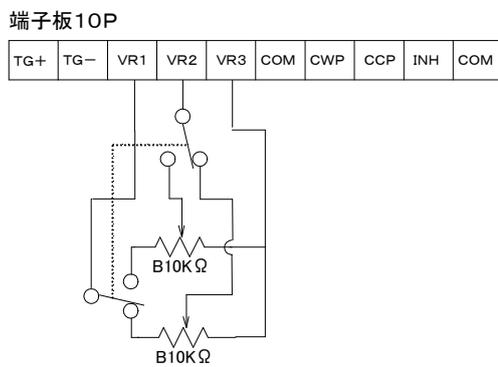
* 停止時はサーボロックがかかりません。

4、逆転運転

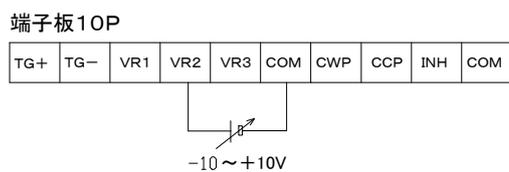


* 停止時はサーボロックがかかりません。

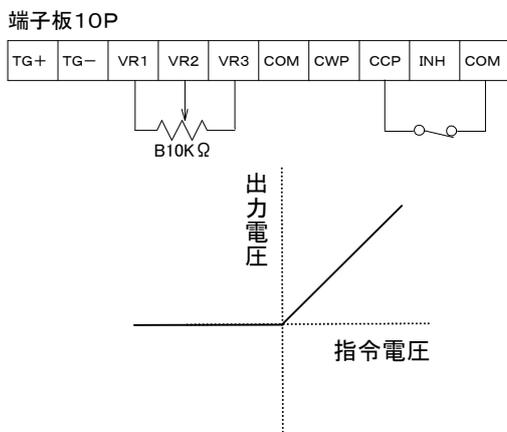
5、速度・回転方向切換え運転(可変抵抗器)



6、速度・回転方向切換え運転(アナログ電圧)

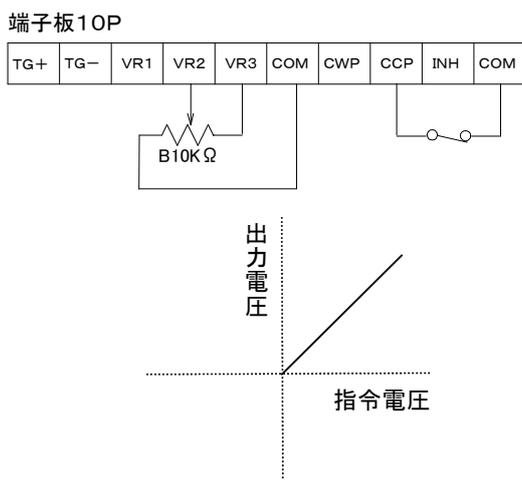


7、逆転禁止入力中の指令電圧と出力電圧（その1）



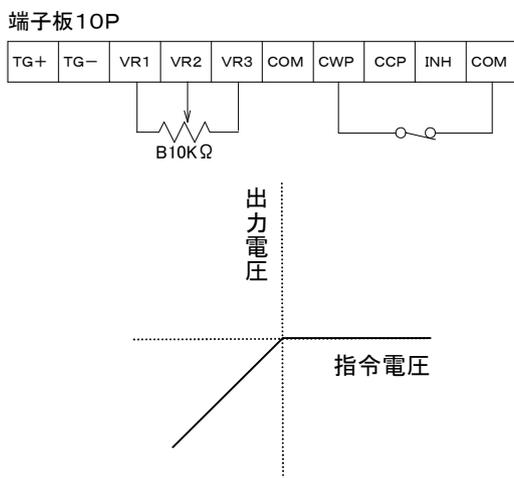
- * 可変抵抗器の中央より左側は全て出力電圧0Vになります。
- * モータ停止時にサーボロックはかかりません。

8、逆転禁止入力中の指令電圧と出力電圧（その2）



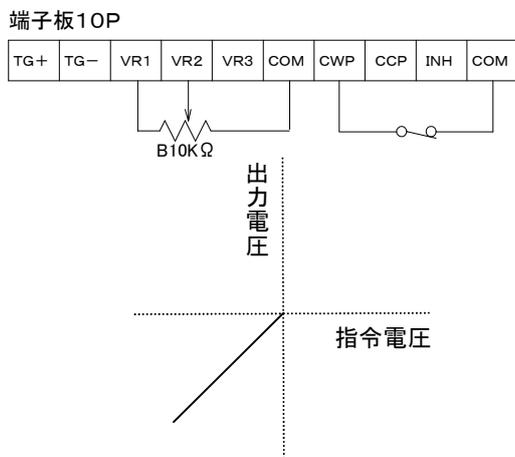
- * 可変抵抗器を左一杯にすると出力電圧0Vになります。
- * モータ停止時にサーボロックはかかりません。

9、正転禁止入力中の指令電圧と出力電圧（その1）



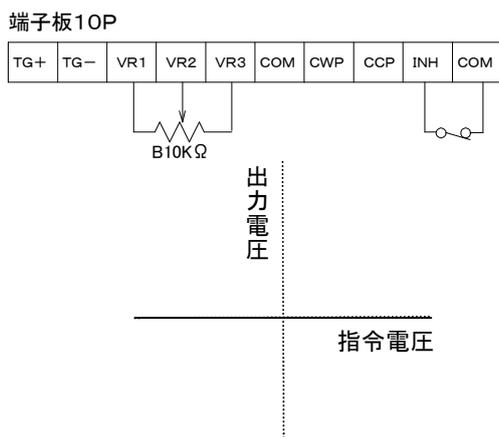
- * 可変抵抗器の中央より右側は全て出力電圧0Vになります。
- * モータ停止時にサーボロックはかかりません。

10、正転禁止入力中の指令電圧と出力電圧（その2）



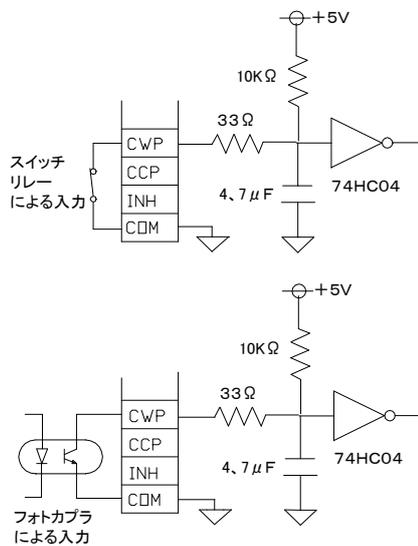
- * 可変抵抗器を左一杯にすると出力電圧0Vになります。
- * モータ停止時にサーボロックはかかりません。

11、インヒビット信号（INH）と出力電圧



- * インヒビット信号が入るとFETのゲート信号は全てOFFになり、モータフリーになります。

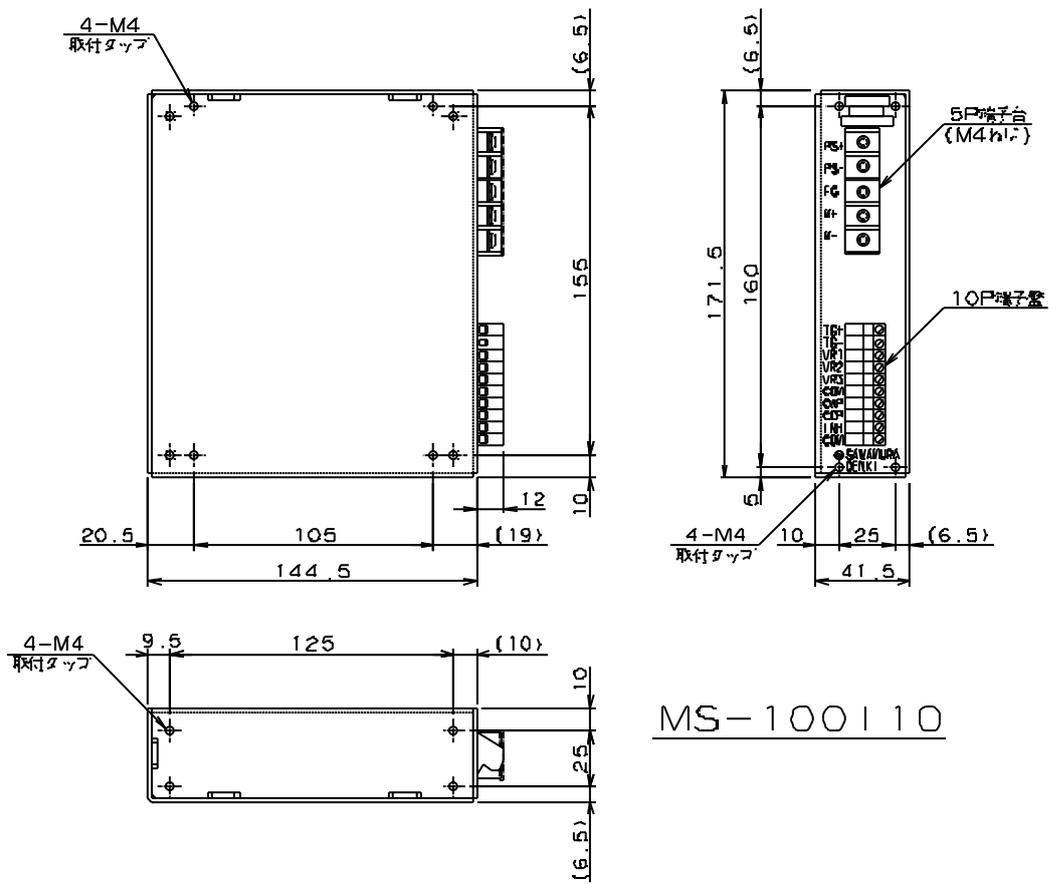
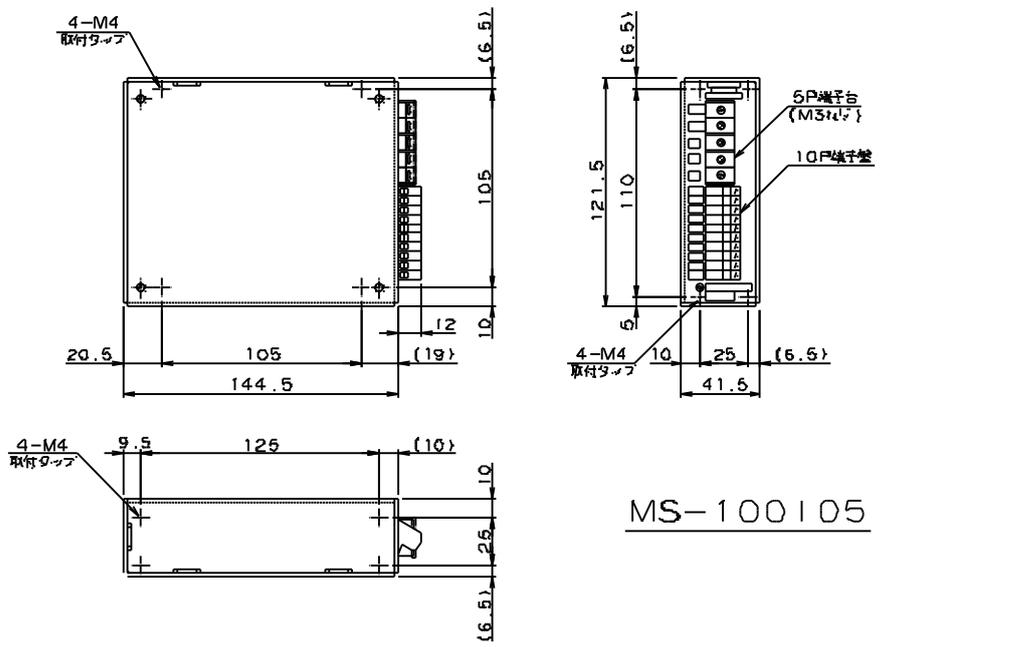
12、外部操作信号（正転禁止、逆転禁止、INH）の入力回路

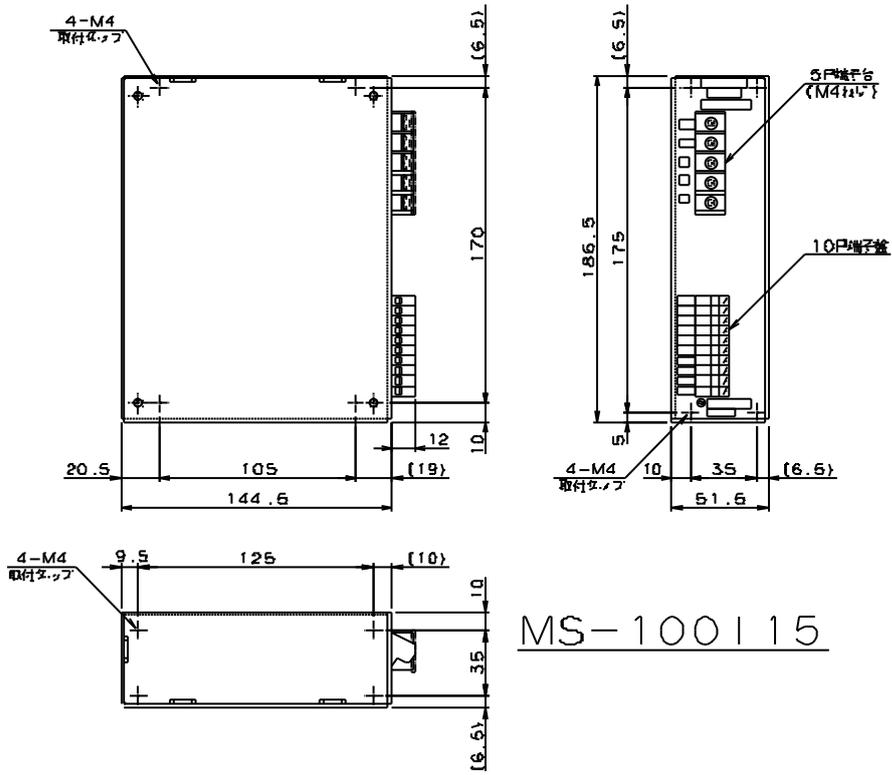


・仕様

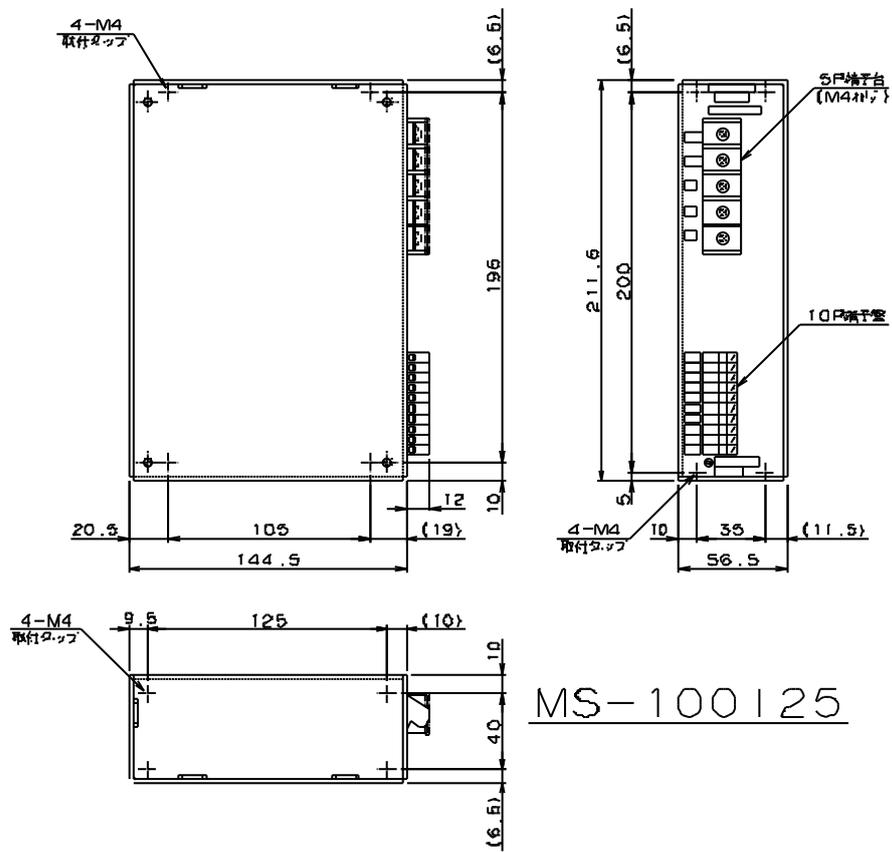
形式名	MS-100I05	MS-100I10	MS-100I15	MS-100I25
適用モータ DC 12V	SS40E2	SS40E4 SS40E6 SS40E8		SS60E3
モータ出力	20W	40W~80W		120W
適用モータ DC 24V	SS40E2 SS40E4 SS40E6	SS40E8 SS60E3	SS60E6	SS60E8
モータ出力	20W~60W	80W,120W	240W	350W
主回路	MOS-FET PWM制御 可逆			
電源電圧	DC 8~32V			
出力電圧	DC 0~±31V (電源電圧±1V)			
定格電流：連続定格	DC±5A	DC±10A	DC±15A	DC±25A
瞬時最大電流：5分定格	DC±7A	DC±15A	DC±22A	DC±25A
速度指令電圧	DC±10V			
指令入力抵抗	100KΩ			
速度帰還	なし			
減定格率	95%以上			
PWM周波数	20KHz			
調整機能	スピード	RV1 -		
	ローゲイン	RV2 1倍		
	オフセット	RV3 ±0.2V可変		
	位相補償	RV4 -		
	電流制限	RV5 0~150%	0~110%	
	ソフトスタート	RV6 0~5sec		
保護機能	放熱器温度	90℃出力停止 (モータフリー)		
	過電流	電流制限設定値で定電流動作		
操作信号	インヒビット	出力停止 (モータフリー)		
	逆転禁止	正転 非可逆運転		
	正転禁止	逆転 非可逆運転		
使用温度範囲	-10~40℃			
可変抵抗器	10KΩ 10回転 (オプション)			
ダイヤル	アナログ又はデジタル (オプション)			

・ 寸法図





MS-100115



MS-100125